

発行元
東京新聞
南千住専売所
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

すまいるたうん

第102号
平成21年
4月4日



一期一会 心の語録④

「時間が止まっているんです」

82号 人生いろいろ

60年の歴史、明月館

「水、熱、ごみは都市を維持する三要素、動脈なんです」

84号 都市の動脈、

再生資源の祖 日暮里

「震災孤児達への炊き出しが、

母の会のはじまりです」

85号 地域の子供達を守る

南千住母の会

「下ごしらえが喜ばれているんです」

86号 春夏秋冬、旬の郷愁 藤野青果

「雪の日は坂が登れなくて。台風は雨だけでなく風で紙が飛ばないように。大変だけど、待っていてくれる人がいるから」

87号 資源回収車に乗って

助手席からの風景

「とことん丁寧に。その時その状態にあった治療を心がけています」

88号 痛みを諦めないで

ゆめ・整骨院

「紙の上に筆を下ろした安心感、すつと入り込める快感はお金には替えられない」

ない」

89号 筆先に気持ちを溜めて

藤野紘霞さん

「有機野菜で安全、安心で美味しいものを提供したい」

90号 主婦の応援隊

有機野菜のお店 畑や

「自分の身体を

もつといたわらないといけない」

91号 恵美子さんのがん闘病記

「再生致します」

92号 希望を叶えるバラエティショップ蕾

「理解すること、理解されることで希望が持てる」

93号 共生と再生 マック・リブ作業所

「子供は英語を聞いたまま、そのままを無意識に発音が再現できます」

94号 楽しく身につく英会話

ECCジュニア南千住汐入教室

「まず一步。出てくることも一つのリハビリ」

95号 心が折れないように 荒川在宅

難病患者会 (あらかわCDねっと)

「手間を惜しまず、少しでも美味しい物を提供したい」

96号 昔ながらの日新の味

(有)三松屋製麺

「柔らかな身を崩さず焼きます」

97号 60年、三代続く 熟成の味

どじょう・うなぎの店



「笑顔で迎え、笑顔で見送る」

98号 陽だまりの場所

福祉ショップ「いつか堂」

「毛髪を思いのままに お客さんの要望に応える」

99号 千住製絨所から始まる

海老江家、理髪師の3代の歴史

「縁があった人。

いとしさと愛を忘れないで」

100号 共感して共有

荒川区男性介護者の会 オヤジの会

「伝えなければ、気がつかない」

101号 段差のない社会へ

荒川やさしい街づくりの会

「人生は一番勝負なり。指し直す能わず」

菊池寛

100号を超え、多くの方の人生を垣間見るお話を沢山聞かせていただきました。

いただいた言葉をうまく伝えられるか、毎回七転八倒しています。 真摯に生きる方達の何気ない一言の重さを伝え、記憶を記録する作業を続けていきたいと思

います。これからも、どうぞ「すまいる

たうん」をよろしくお願い致します。